

identity

個性の花咲く
中島村。
年少人口率は
県下トップクラス。

identity【個性】

笑顔が輝きはじめる。



中島村の“元気”を支えるもの。それは、子どもたちの笑顔に他なりません。数年来の宅地造成にともなうニュータウン等への転入者の増加も手伝い、村の年少人口率（0歳～14歳）は、県下でトップクラスの数値を示しています。

また、村の高齢者人口率は18.2%と県内では比較的低い率であり、マンパワーにあふれた若々しい村であることを物語ります。

小さな芽がやがて安らぎを与える大木へと成長するように、子どもたちの笑顔の一つひとつが中島村の個性をかたちづくり、豊かな未来を創造していきます。

idea

中島村だからできる
ふれあい
コミュニケーション。

idea【直感】

発想力が人をつなぐ。

平成9年に誕生した「ブリテッククラブ」は、会員の自由なアイデアを持ち寄って、料理やレクリエーションなどのさまざまな学習会を開いています。会員数は現在12名、少数ながらも20代の女性を中心に構成される元気いっぱいのクラブです。



設計会社に勤める芳賀典子さん（写真左）もそんな会員の一人。広報の募集を見てクラブに入会しました。「同世代との人たちとの交流も深まり、おかげで料理のレパートリーも増えました。」と話す彼女は、料理は既製品に頼らず、あくまで手作りというこだわり派。

自由で楽しい雰囲気が、次々と素晴らしいアイデアを生みだし、個性を尊重しあつた中島村コミュニケーションの輪はますます広がっています。

image

スタンド&ファイト！
自分の気持ちを
石に刻む。

image【心に描く】

情熱をカタチに変える。



一本の鑿^{のみ}からさまざまな作品を彫り上げる具象石彫家、会田富二男さんが神奈川県から中島村に越してきたのは6年前のこと。もともとは浅川町出身です。

「彫刻は、自分の考えがそのまま形に変わる世界。つまり、スピリットが大切なんです。“スタンド&ファイト！”

負けてもいいから一歩でも前へすすむという気持ちで、作品を1ミリでも上へ持ち上げていきたいですね。」と語る会田さんの作品は、どれもがどっしりとして、あたたかい。

自宅のすぐそば、林にとけ込むようにして広がる仕事場で、木々のざわめき、四季の移ろいを感じながら、今日も高らかな鑿の音が村に響きわたります。



石に魂を吹き込む作業が今日も続く。